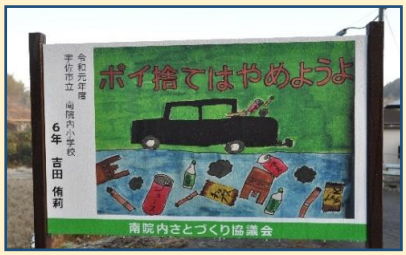
小学生作品の
すばらしい美化看板が完成しました！！

今年度の、まちづくり計画実践活動事業として計画されていた「美化看板」が完成しました。看板の図案は、南院内小学校６年生の安部澪奈さん、糸永彩乃さん、大屋舗野々花さん、佐藤祐也さん、永田歩見さん、吉田侑莉さんの６人が作成しました。
『ゴミを捨てると米来が危険』、『ＳＴＯＰポイ捨て』、『院内の自然を大切に』などの標語と絵を描いてくれました。看板は両面看板とし、観光者や地域の多くの人たちが利用するマチュピチュ展望所や分寺橋公園、余温泉近くなどに設置し、環境美化やごみ捨て防止に効果が期待されています。



マチュピチュ展望所の売店を活用

昨年９月から１２月までの３か月間、マチュピチュ展望所の売店を活用して物品販売を行いました。
９月７日の土曜日を初日とし、毎週土曜日や日曜日、祭日に開店。米や野菜、果物や工芸品などを生産者や製作者、協力者が持ち込み、協議会役員や生産者有志などが販売。当日売れ残ったものは生産者に回収する方法で３か月間行いました。
秋の行楽シーズンで多くの観光者が立ち寄り、多い日には観光バスが４台から６台も立ち寄るなど盛況で、５万円を超える売り上げの日もありました。
売店活用の目的は南院内さとづくり協議会自主財源確保のため、昨年度市の助成金を活用して売店や隣接するトイレを改修。また、電気の引き込みなどを行って、観光者から要望の多かった自動販売機も設置して展望休憩所の条件整備を行い、初めて農産物等の販売を行ったものです。
今回の売店による販売は試験的に３か月間行ったもので、今後には今回の実績をもとに、販売所の待遇など販売にも携わる人たちの検討がなされながら、販売所の活用を行っていく予定にしています。

南院内児童クラブ第2回運営委員会

南院内さとづくり協議会が運営母体となっている、南院内児童クラブの本年度第2回運営委員会が11月20日に南院内コミュニティセンターで開催されました。渡邊正知運営委員長が『子どもたちは、風邪もひかず元気にクラブを利用している。子どもたちの状況や事業費のことを報告したい。』と。支援員の加来こずえさんが日々の様子や毎月の利用状況、収支の中間状況等を説明。運営委員からは放課後チャレンジ教室との連携等について質問などが出されました。児童クラブは今年度13人が利用しています。

『宇佐市ふるさと応援寄付金』へのお願い！！

- 『宇佐市ふるさと応援寄付金』制度を活用して南院内さとづくり協議会が行う地域づくり活動を応援することができます。
- 宇佐市以外にお住まいの南院内地区出身の子どもさんやお孫さん、親戚などお知り合いの方々への呼びかけをお願いします。寄付していただいた寄付金は翌年度に南院内さとづくり協議会に交付され地域づくり活動に活用されます。
- 宇佐市より寄付者へふるさとの特産品を送ります。また、 税金対策にもなります。
- 申込書には「南院内さとづくり協議会」と記入して下さい。よろしくお願いします。（問い合わせは事務局まで）